

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立伊勢原中学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	・文脈に即して漢字を正しく使うことができる。 ・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができる。	・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。 ・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。
数学	・1次関数の変化の割合を理解している。 ・目的に応じて式を変形することができる。	・式の意味を読みとり、成り立つ事柄を見いだすこと。 ・数学的な表現を用いて説明すること。
理科	・粒子を柱とする領域においては、化学変化に関する知識、技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、具体的にイメージできる。 ・全般において、問われている問題の内容を理解し、その内容に対する答えを文章で表現することができる。	・エネルギーを柱とする領域において、仮説を立てて科学的に探究すること。
質問調査	・タブレットなどのICT機器で文章を作成することや情報を収集することに長けている。 ・授業や学校生活において、周りの人の考えを大切にし、協力しながら話し合い活動や課題解決に取り組むことができる。 ・困っている人がいたら助けたい、地域や社会を良くするために何かしてみたいと思っている生徒が多い。	・得られた情報をICT機器を使って整理することや発表用のスライドを作成すること。 ・学習した内容を次の学習につなげること。 ・読書は好きだと思っている割合が高い一方で、読書をする時間が少ないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】

・表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫できるようにしていく。

・情報を取り出したり活用したりする際に行う整理の仕方やそのための具体的な手段について、言語活動の中で使うことができるようにしていく。

【数学】

・数学的な表現を用いて説明することができるよう、基礎基本の定着に努める。

【理科】

・日常の科学的現象に関心がもてるようにし、学習内容とのつながりを授業の中で共有し、理解したり説明したりする活動を充実させていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

・ご家庭による日々のご支援により、基本的な生活習慣は概ね定着しており、生徒は、落ち着いて授業を受けることや意欲的に学校の諸活動に取り組むことができます。

・スマートフォンやタブレットなどのICT機器を使用する場面が増えています。適切な利用時間やより良い活用方法などについて、時々ご家庭でも話をする機会を設けていただきたいと思います。

・より多くの生徒が地域とのつながりを深められるよう、今後も地域の行事やボランティア活動への参加を呼びかけていただくことや、子どもたちの生活を地域みなさんで見守っていただければと思います。